

Ⅲ 社内外の 評価及びご意見

- 九州電力環境顧問会 51
- レポートの読者アンケート 52
- 社員の環境意識 53
- お母さま方の環境意識 53
- 社外評価 54



長崎県 九十九島

西海国立公園に含まれ、佐世保港の外側から平戸まで25kmにわたり島々が点在しています。「九十九」とは、たくさんの数の例えで、実際の島の数は208あり、島の密度は日本一といわれています。

九州電力環境顧問会

2010年5月20日に「第10回 九州電力環境顧問会」を開催し、九州電力グループの環境への取組みや「2010九州電力環境アクションレポート」について、様々なご意見をいただきました。

環境顧問会での主なご意見とその反映状況についてご紹介します。

九州電力環境顧問会委員 (50音順 敬称略)



あかぎ えい
赤木 衛
著述業



あかとう えいじ
赤塔 栄治
読売新聞 西部本社
編集局経済部長



あさの なおひと
浅野 直人
福岡大学 法学部教授
中央環境審議会委員



いしくぼ なほみ
石窪 奈穂美
消費生活アドバイザー



おおつか まさお
大塚 政雄
環境省 環境カウンセラー
(市民部門)



つつい やすひこ
筒井 泰彦
エッセイスト



つるた かつとし
鶴田 暁
九州地域環境・リサイクル産業
交流プラザ 副会長



なかむら ひでたか
中村 英隆
おんが
遠賀信用金庫
理事長



にしだ しんいち
西田 進一
西田鉄工株式会社
代表取締役社長



ふじもと のぼる
藤本 登
長崎大学教育学部
准教授



会議風景

1 環境への取組みについて

| ご意見の概要 | ご意見の反映状況 |
|--|---|
| 木質バイオマス混焼実証試験 ●木質バイオマス混焼実証試験は、循環型社会形成や生物多様性に寄与するほか、森林管理を促し地域活性化にも貢献することから、今後の成果に期待している。 | ●木質バイオマスの混焼は、当社では峇北発電所での実施が初めてであるため、今後、木質チップの調達状況や、ボイラーでの混焼状況等を十分に検証していきます。 |
| 運輸面でのCO₂削減 ●一般車両の燃費が目標未達となっているが、社内研修等によりエコドライブを徹底させるなど、更なる工夫の余地があるのではないかと。 | ●研修や社内イントラネットを活用したエコドライブの徹底・周知や、社用車の低燃費車への計画的切替えを今後も着実に実施し、燃料消費率の向上に取り組んでいきます。 |
| 国際貢献 ●グローバルな環境問題解決のためには、国際貢献への取組みが重要。地理的に近いアジアを中心に、九州電力の技術を活用した環境貢献を期待している。 | ●クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ (APP) を通じた当社の火力発電に関する技術・ノウハウの提供など、今後とも、海外での非化石化へのアプローチを積極的に進めていきます。 |
| 原子力関連情報 (プルサーマル) ●玄海原子力プルサーマルが開始されたが、地震やMOX燃料の輸送ルートなど、一般の方たちは安全性について特に心配しているため、これらについては、引き続き、可能な限りの親切・丁寧な説明を心掛けてほしい。 | ●プルサーマル開始に伴う燃料の健全性の監視強化状況や耐震安全性評価結果について、ホームページや環境アクションレポート等を通じて、今後とも、適切かつ親切・丁寧な説明に努めていきます。 |
| 社会との協調 ●「九州ふるさとの森づくり」終了後も、植樹活動は継続してほしい。 | ●50周年事業としての「九州ふるさとの森づくり」は、10年間の活動を評価・総括する観点から、2010年度で一旦区切りをつけることとし、植樹活動自体については、地域共生活動の一環として継続していく方向で今後検討を進めていきます。 |

2 環境アクションレポートについて

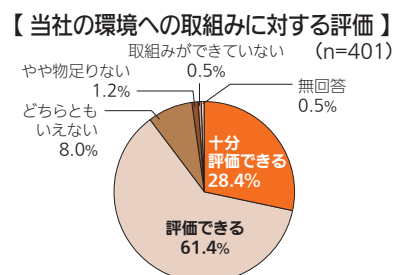
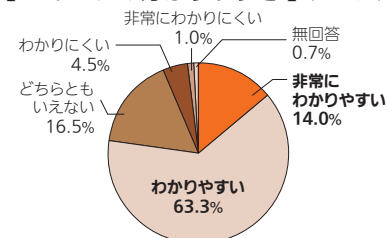
| ご意見の概要 | ご意見の反映状況 |
|---|--|
| 火力発電についての記載 ●安定供給上、火力発電は必要不可欠。海外と比べた場合の効率の良さなど、もう少し説明を追加しても良いのではないか。 | ●当社の火力総合熱効率の高さを広くPRするため、今回新たに作成する一般のお客さま向けの小冊子に、火力発電効率の国際比較グラフを掲載します。 |
| エコキュートの経済性 ●エコキュートの経済性をもう少しPRしても良いのではないか。 | ●今回新たに作成する一般のお客さま向けの小冊子の中で、環境性・快適性・経済性の総合的な観点からのPRを行います。 |
| 離島マイクログリッドシステム ●マイクログリッドシステムは、九州の地域特性を活かした取組みであり、社会的関心も高いことから、メリット・デメリット・経済性など、もう少し丁寧に記載し、積極的にPRしてはどうか。 | ●九州本土のスマートグリッド検討との関連について記載するとともに、試験内容の概念図を追加しました。今後とも、実証試験による評価結果等について、環境アクションレポート等を通じて、適切かつ丁寧な説明に努めていきます。 [P24] |
| 生物多様性 ●「生物多様性」は、自然保護のことだけではない。木質バイオマスの活用など、事業活動そのものが生物多様性につながっていることを書いても良い。 | ●生物多様性は事業活動全般にわたることであるため、一部表現の見直しを行いました。 [P35～36] |
| 原子力関連情報 ●一般の人にとって関心が高い放射性廃棄物の管理・処理の記述等については、今後も引き続き丁寧な説明を心掛けてほしい。 | ●ホームページや環境アクションレポート、講演会など、あらゆるツール・機会を活用し、お客さまのニーズを踏まえながら、今後とも丁寧な説明に努めていきます。 |
| 環境アクションレポート全般 ●環境アクションレポートは、全体的には立派になったとの印象。 ●「私の環境アクション」は、現場の生の声で説得力がある。 ●川内原子力発電所での人身事故など、マイナス情報も記載されていることを評価したい。 | ●今後も引き続き、積極的な情報公開に努めていくとともに、読みやすさ・分かりやすさに配慮しながら、記載内容の充実にも努めていきます。 |

レポートの読者アンケート

2009年6月に発行した「2009 九州電力環境アクションレポート」のアンケートを通じて、九州電力の環境活動のあり方などについて、401名の皆さまから貴重なご意見をいただきました（2010年3月末現在）。ご協力ありがとうございました。

【九州電力の環境への取組みについて、ご関心を持たれた項目と、その理由やご意見】 【レポートの分かりやすさ】 (n=401)

| ご回答が多かった項目(上位5項目) | 選択数 | 主な理由・ご意見 |
|------------------------|-----|---|
| 1 温室効果ガスの排出抑制 | 160 | ●様々な方法で温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいることが、具体的に紹介されていてわかりやすい。 ●新エネルギーはこれから期待されるエネルギー源だと思っているので開発を推進してほしい。 |
| 2 原子力関連情報 | 135 | ●原子力発電所からの放射線量がこんなに低いとは知らなかった。 ●プルサーマルについて、言葉は聞いたことがあってもきちんと意味を把握していなかったので勉強になった。 |
| 3 大気汚染・水質汚濁・騒音などの防止 | 101 | ●身近な問題なので、様々な対策がされていることを知り安心した。 |
| 4 オゾン層の保護 | 98 | ●オゾン層の保護は長年言われてきたことなので、どういう対策をしているのか気になった。 |
| 5 2009環境アクションレポートハイライト | 92 | ●九州各地での環境への取組みを見ることが出来るので、自分の身近な場所では何が行われているのか、とても興味を持った。 |



(注) 複数の項目を選択可能(最も関心あり1つ、その他関心あり4つ) ため、最も関心ありの選択数に1.5ポイント、その他関心ありの選択数に1ポイントを乗じて順位付け。

アンケート結果と対応

環境活動全般に関するものから、レポートの編集・体裁に至るまで、ステークホルダーの方々から貴重なご意見を数多くいただきました。いただいた主なご意見について、本レポートの関連ページ(右上部)にてご紹介するとともに、記載内容への反映・充実を図ることで、環境コミュニケーションツールとしての更なる充実にも努めています。

また、環境アクションレポートについて、「要約版が欲しい」とのご意見が多く寄せられました。このため、今年度は、「2010九州電力環境アクションレポート」の要約版として「小冊子」を新たに作成しています。

今後とも、これらのツールを積極的に活用し、より多くの方々との環境コミュニケーションを展開していきたいと考えています。

- 熱効率
- エコキュート
- マイクログリッドシステム
- スマートグリッド
- 放射性廃棄物
- 温室効果ガス
- 新エネルギー(新エネ)
- 放射線
- 大気汚染
- 水質汚濁
- オゾン層
- ステークホルダー
- 環境コミュニケーション

用語集の解説をご覧ください

社員の環境意識

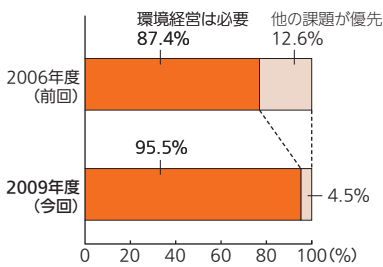
社員の環境活動に対する意識や実践状況、ニーズなどについて定期的に把握・分析し、環境アクションプランの策定に反映させることで、環境経営レベルの向上に努めています。

【調査の概要】

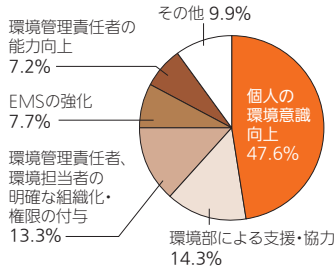
| 調査目的 | 対象 | 回答者数 |
|--|---|----------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 全社一丸となった環境経営推進のための課題抽出と対応策の検討 ● 社員環境意識の把握と経年比較 ● 社内外情勢変化に伴う社員の環境活動への取組意識変化等の確認 ● 環境部による支援・指導の効果並びに今後の施策検討に向けたニーズの確認 | 社員 11,670人 (在職者。ただし、本店室部長以上、 支店長及び休職者は除く) | 7,277人 (回答率: 62%) |

【主な調査結果】

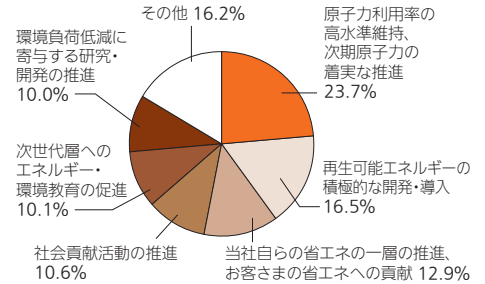
Q1 環境経営の推進について、どう考えますか



Q2 環境経営を推進するための組織能力向上に何が重要だと思いますか(複数回答)



Q3 当社が更に力を入れていくべき環境活動はどれだと思いますか(複数回答)



【分析評価・課題と今後の主な取組み】

| 分析評価・課題 | 今後の主な取組み |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 環境経営に係る社員の理解は着実に浸透。 ● 社員の環境意識高揚に向けた教育・研修の充実が必要。 ● エネルギー・環境問題の高まりに伴い、当社の環境への取組みをこれまで以上にPRしていくことが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 事業所のEMS運用実態に応じた環境部による支援・指導の継続実施。 ● 社内外動向や社員ニーズ等を踏まえた部門研修・階層別研修の着実な実施。 ● 各人・事業所単位での積極的な環境コミュニケーションの展開。 ● 社内イントラネットを活用した社員へのタイムリーな環境情報の提供・共有化。 |

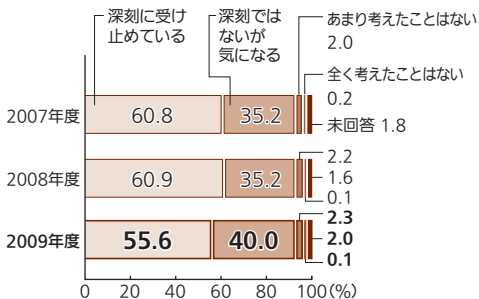
お母さま方の環境意識

エコ・マザー活動 (P26参照) に参加した園児の保護者の方々を対象にアンケートを実施しており、いただいた貴重なご意見等については、エコ・マザー活動をはじめ、当社の環境活動を充実していく際の参考とさせていただきます。

(配布数: 20,556、回答数: 7,465 [回答率: 36.3%])

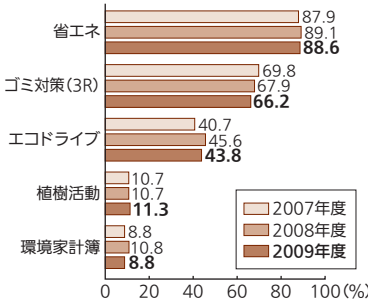
【地球環境問題】

Q1 地球環境問題についてどのようにお考えですか



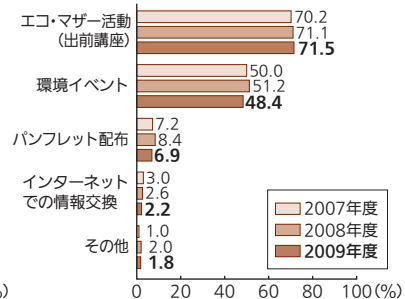
【環境への取組み】

Q2 ご家庭でやってみようと思う取組みはありますか



【環境教育】

Q3 お子さまの環境教育充実のためには、どのような活動が効果的だと思いますか



【アンケート結果と活動への反映】

| アンケート結果 | エコ・マザー活動への反映 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 回答いただいたほとんどの方が地球環境問題に関心を持たれており、ご家庭で環境への取組みを起ころうとお考えになっている方の割合は高い水準で推移。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 2009年度は、活動時に園やご家庭にお配りしている、環境情報や身近な環境への取組みを記載した冊子を改訂・充実しました。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● お子さまの環境教育には体験型・参加型の活動が効果的と捉えられており、とくにエコ・マザー活動(出前講座)に関しては高い評価。 | <ul style="list-style-type: none"> ● エコ・マザー活動や出前授業など、次世代層へのエネルギー・環境教育の更なる充実に向けて検討します。 |

社外評価

1 環境に関するお問い合わせ等への対応

お客さまからのご意見・ご要望、ご質問等をホームページ上の窓口（お便りBOX）で受け付けており、2009年度は、当社の販売電力量あたりのCO₂排出量など環境関連のお問い合わせ等を22件お寄せいただきました。

お寄せいただいたお問い合わせ等には、個別にご回答させていただくなどの対応を行うとともに、今後の環境活動に反映させ、より充実した取組みを展開していきます。

【環境に関する主なお問い合わせ内容と対応（2009年度）】

| 項目件数 | 主な内容 | 対応の概要 |
|---------|--|---|
| ご意見・ご質問 | 8 当社パンフレットにおけるヒートポンプ給湯機の性能表示（数値）の相違について | ご指摘のとおり、冊子間でヒートポンプユニットのみのエネルギー消費効率（COP）と給湯機システム全体の年間エネルギー消費効率（APF）の違いが生じており、今後APFに統一することをご説明。 |
| | 環境に関するパンフレット類の送付希望 | 「九州電力環境アクションレポート」や「地球を、もっと、好きになる本」など、当社の環境に関するパンフレット類をご送付。 |
| ご質問他 | 14 有人離島における自然エネルギーの普及施策について | 離島を含む全事業所への太陽光発電設備の設置や離島マイクログリッドシステムの実証試験など、当社の再生可能エネルギーの開発・導入に関する施策についてご紹介。 |
| | PCB廃棄物の保管等について | 当社におけるPCB廃棄物の保管状況及び漏油等の事故が発生した場合の情報公開についてご回答。 |
| | 当社の販売電力量あたりのCO ₂ 排出量について | 算出方法、及び当社の販売電力量あたりのCO ₂ 排出量実績値についてご回答。 |
| 計 | 22 | — |

2 社外評価

| 評価名 | 主催者 | 実施時期 | 九州電力の評価 |
|------------------|---------------|----------|-----------------|
| 「日本が誇るべき企業100社」 | 日本財団CANPAN事務局 | 2009年10月 | 38位/103社 |
| 第13回「企業の環境経営度調査」 | 日本経済新聞社 | 2009年 8月 | 9位/15社（電力・ガス部門） |

3 社外表彰

| 表彰名 | 対象 | 実施団体 | 受賞年月 |
|--------------------------------------|--|------------------------------|----------|
| 第13回 環境報告書賞 優良賞 | 2009九州電力 環境アクションレポート | 東洋経済新報社、 グリーンリポーティングフォーラム | 2010年4月 |
| 大分県文化財サポーター | 大分支店 三重営業所 | 大分県 教育庁 | 2010年3月 |
| 九州ふるさとの森づくりに対する感謝状 | 大分支店 | 日田市 | 2010年3月 |
| エネルギー管理優秀技能者 | (財)省エネルギーセンター 九州支部長表彰 新小倉発電所員・豊前発電所員・ 大分発電所員・竜郷発電所員 | (財)省エネルギーセンター | 2010年2月 |
| エネルギー管理功労者 | (財)省エネルギーセンター 九州支部長表彰 新喜界発電所員・松浦発電所員・ 相浦発電所員・川内発電所員 | 九州地方電力利用効率化協議会 | |
| エネルギー管理功績者表彰 | 九州経済産業局長表彰 苓北発電所員 | | |
| 九州地方電力利用効率化協議会長表彰[エネルギー管理優良工場等] | 新喜界発電所 | | |
| 市内信号機清掃に対する感謝状 | 長崎支店 五島営業所 | 五島警察署 | 2010年1月 |
| eco japan cup 2009 ビジネス部門 環境ビジネスアワード | 八丁原地熱パイナリー発電 | 環境省、総務省他3団体 | 2009年12月 |
| 第1回みんなの森づくり市民植樹祭に対する感謝状 | 大分支店 | 大分市 | 2009年11月 |
| 長崎県緑化等功労者表彰 | 長崎支店 | 長崎県 農林部 | 2009年10月 |
| ダム・堰危機管理業務顕彰 最優秀賞 | 宮崎支店 | (財)ダム水源環境整備センター | 2009年5月 |

●「環境報告書賞 優良賞」を受賞

2009年度に発行した当社の「環境アクションレポート」が「第13回 環境報告書賞 優良賞」（東洋経済新報社、グリーンリポーティングフォーラム共催）を受賞しました。

この表彰制度は、日本における環境情報開示に対する認識を高め、環境報告書の普及と水準の向上を目的に創設されたものです。

当社の環境アクションレポートは、各活動における目標が明確で説明も丁寧である点や、社員の活動が見える点などが評価されたもので、2008年度版に引き続き、2年連続での受賞となりました。



「環境報告書賞」の表彰式



2009 九州電力
環境アクションレポート

- ヒートポンプ
- COP
- APF
- 自然エネルギー
- マイクログリッドシステム
- PCB（ポリ塩化ビフェニル）
- 九州地方電力利用効率化協議会
- パイナリー（発電）